

## 張愛玲文学作品における上海語研究(2)

—『十八春』(『半生縁』)の動詞を中心に—

吉田陽子

### 『十八春』の動詞について(第7章~第10章)

章-頁-行	下線の語彙—上海語の動詞 ローマ字—上海語の発音	(文章の翻訳)、〈共通語〉
7章95頁-22行	母女回到房中，顾太太的旗袍右边 <u>凸</u> 出一大块，曼桢早就看见了，猜着是她姊姊塞给母亲的钱，也没说什么。 凸(dhāk)	(母と娘は部屋に戻った。曼桢は母(顧夫人)のチャイナドレスの右側が大きく膨らんでいることをずっと前から目にしていた、姉が母に渡したお金だろうと想像していたが、何も言わなかった。) 凸:膨らむ。((凸出 dhākcek))は方向補語を附加した用法。 凸出=〈鼓出〉
7-96-7	曼桢笑道：“你哪儿舍得买什么东西吃，结果还 <u>不是</u> 在家用上 <u>贴</u> 掉了！……。” 贴(tik)	(曼桢は笑いながら「お母さんはきっと何かを買って食べるのをもったいないと思い、結局、家計のために補って使ってしまうよね」と言った。) 贴: 家計を補う。((贴掉 tikdhiao))は結果補語を附加した用法。 贴掉=〈贴补掉〉
7-96-11	曼桢道：“妈，我就是这么说： <u>不</u> 犯着呀，……。” 犯(váe)	(曼桢は「お母さん、私はそう言ったのさ、“そうするには及ばないよ”。…中略…」と行った。) 不犯着: ~に値いしないと同じ意味で、《勿犯着 vékváezhāk》も使われる。尚、《犯得着 váedekzhāk》《犯勿着 váevèkzhāk》という可能補語を附加した用法もある。 不犯着=〈不值得〉
7-96-20	曼桢道：“妈，你别这么着，大家再苦几年，就快 <u>熬</u> 出头了。” 熬(gnáo)	(曼桢は「お母さん、そうおっしゃらないで。皆であと何年か頑張れば、もうすぐ芽が出るさ。」と行った。) 熬: 辛抱する。((熬出头 gnáocekdhóe): 耐え抜く。) 熬出头=〈熬出来〉〈忍耐下来〉
7-96-26	她从被窝里伸出一只白手臂来，把电灯 <u>捻</u> 灭了。 捻(ni)	(彼女は布団から白い片腕を出して電気スタンドをひねって消した。) 捻: ひねる。((捻灭 nimik): ひねって消す。結果補語を附加した用法。) 捻灭=〈关掉〉

7-98-5	我说他还没发财，先 <u>发</u> 神经了！ 发(fak)	(あの人ったら、まだ金持ちになっていないのに、気がふれたの。) 发：病気が再発する。((发神经 fakzhénjìn)：ノイローゼを引き起こす。話し言葉ではヒステリーを起こす時に使う。) 发神经＝〈发神经病〉〈发歇斯底里〉
7-100-13	这墙上的壁画，是我 <u>塌</u> 了个便宜货，找一个美术学校的学生画的，只花了我八十块钱。 塌(tak)	(この壁の壁画は、うまいことやって、美術学校の学生に描いてもらったもので、80 元しかかからなかった。) 塌：ちょっと得をする。((塌便宜货 takbhíniū)：安物で得すること。) 塌便宜货＝〈沾便宜〉〈讨便宜〉
7-101-25	鸿才道：“刚才先 <u>晓得</u> 直接送你去了。” 晓得(xiāodek)	(鴻才は、「先に知っていれば直接君を送ってあげたのに」と言った。) 晓得：知る。 晓得＝〈知道〉
7-104-3	他反正在旅馆里开有长房间，随时可以去 <u>打</u> 中觉。 打(dān)	(どうせ彼はホテルに長期滞在の部屋を取ってあり、いつでも昼寝をしに行くことができる。) 打：寝る。((打中觉 dānzòngāo)：昼寝をする。) 打中觉＝〈睡午觉〉
7-108-2	说着，她便一扭身，背 <u>冲</u> 着她母亲。 冲(còn)	(言いながら彼女はくると母親に背を向けた。) 冲：(～方を)向く。((冲着 cònzhǎk)は動態助詞を附加した用法。) 冲着＝〈朝着〉
7-108-4	顾太太沉默了一会，方道：“你 <u>看</u> 开点吧，我的小姐。” 看(kēu)	(顧夫人は暫く沈黙してから「思い詰めなさんな。お嬢さん。」とようやく口を開いた。) 看：思う。((看开 kēukài)：思い詰めないこと；くよくよしないこと。) 看开＝〈想开〉
7-110-1	自从招弟来到这里，曼璐本来想着，只要把她 <u>笼络</u> 好了，这孩子也可以成为一个感情的桥梁。 笼络(lónlhōk)	(曼璐はもともと考えていたのは、招弟ちゃんにこちらに来てもらって、彼女をちゃんと丸め込んだら、この子がコミュニケーションの架け橋になれるだろうということだった。) 笼络：丸め込む。((笼络好 lónlhōkhāo)は結果補語を附加した用法。) 笼络好＝〈拉拢好〉
8 章-113 頁-11 行	慕瑾道：“我因为医院里 <u>添办</u> 一点东西，我到上海来看看。” 添办(tìbhái)	(慕瑾は「病院に少し増やしたい物があり、上海へ物色しに来た。」と言った。) 添：増やす。((添办 tìbhái)は結果補語を附加した用法。) 添办＝〈添买〉
8-114-12	“他给你闹得睡不着觉， <u>火</u> 起来了。”	(「彼は君に騒がされて眠れなくなって、かんかんに怒り出した」と。)

	火(huǒ)	火:怒る。((《火起来 hǔqǐláie》:かんかんに怒り出す。方向補語を附加した用法。) 火起来 = 〈发起火来〉
8-114-26	慕瑾看见她盛了一碗白饭， <u>挟</u> 了两块咸白菜在那里吃着，觉得很不过意。 挟(jiā)	(慕瑾は彼女が茶碗にご飯を盛って、白菜の漬物を二切取って食べているのを見ると、申し訳ない気持ちになった。) 挟: はさむ; 取る。((《挟菜 jiācāe》;《挟小菜 jìxiǎocāe》: 料理を挟む。前掲「5-81-1」に同じ。)) 挟菜 = 〈夹菜〉
8-115-18	他们专给客人使用的一种上方下圆的老式筷子， <u>捏</u> 在手里特别沉重，……。 捏(niē)	(彼らはわざとお客さんに上の部分が四角形で、下の部分が丸いという古いスタイルの箸を用意した。持っているとともに重く感じて、…。) 捏: 握る。((《捏在 niēzài》は結果補語を附加した用法。)) 捏在 = 〈拿在〉
8-117-12	她近来觉得，老是两个人 <u>腻</u> 在一起，热度一天天往上涨，总有一天他们会不顾一切，提前结婚了，……。 腻(nì)	(彼女は最近、二人がいつもくっついて、愛する気持ちが一日ごとに上昇して、いつかきっと一切を顧みず結婚を早めるのであろうと思うようになり、…中略…) 腻(nì): くっつく。((《腻在 nìzài》は結果補語を附加した用法。)) 腻在 = 〈粘在〉
8-118-5	杰民向来喜欢在饭桌上絮絮叨叨说他在学校的事，无论是某某人 <u>关</u> 夜校，还是跟谁打架……。 关(guān)	(杰民は昔から食卓で学校の事をくどくど話すのが好きで、だれだれが、放課後学校に閉じ込められたとか、だれだれかと喧嘩したとか、言っていた。…中略…) 关: 閉じこめる。((《关夜学 guānyehǎoxué》: やってはいけないことをしたため、放課後学校に居残りさせられること。《夜学 yehǎoxué》とは、学校での午後の授業を指し、例えば《放夜学 fānyehǎoxué》は午後の授業後の放課後のことを指す。)) 关夜学 = 〈留在学校〉
8-118-8	杰民 <u>扒</u> 了两口饭，又道：“妈，你一定要去看的。先生说这出戏非常有意思，……。 扒(bā)	(杰民は何口かのご飯をかき込んで食べて、「お母さん、必ず観に来てね。この芝居はとても面白いと先生が言った」とまた言った。…中略…) 扒: かき込む。((《扒饭 bāfàn》: ご飯をかきこんで食べる。)) 扒饭 = 〈匆忙吃饭〉
8-120-20	顾太太在桌子上 <u>铺</u> 了两张报纸，……。 铺(pū)	(顧夫人はテーブルに新聞紙を2枚敷いて、…中略…) 铺: 敷く。((《铺报纸 pūbàozi》: 新聞紙を敷く。))

		铺 = 〈垫〉
8-120-21	把几升米 <u>摊</u> 在报纸上，慢慢地 <u>拣</u> 出稗子和沙子。 摊(tàe) 拣(gāe)	(何升<1 升=10 合——筆者>の米を新聞紙に広げて、ゆっくりにお米の稗と小石を抛り取っていた。) 摊:広げる。(《摊在 tàezhāe》は結果補語を附加した用法。) 摊在 = 〈放在〉 拣: 抛る。(《拣出 gāeček》は方向補語を附加した用法。) 拣出 = 〈挑出〉
8-120-26	说起你娘，我说我们到乡下去，空下来可以弄点吃的，接她来打打小牌，我们老姊妹 <u>聚</u> 聚，哪 <u>晓得</u> 就看不见了呢！ 聚(jhú) 晓得(xiāodek)	(君のお母さんのこととなると、私たちは田舎へ行き、暇な時に美味しい物を作り、彼女にマージャンしにきてもらったり、姉妹のように集まりたかったが、会えなくなることは思いもよらなかった。) 哪晓得 = 〈没想到〉 聚: 集まる。(《聚聚 jhújhú》は動詞の重ね型の用法。) 聚 = 〈汇聚〉 晓得: 知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得 = 〈知道〉
8-121-21	慕瑾笑道：“看电影也有瘾的。越看的多越要看。在内地因为没的看， <u>憋</u> 个两年也就戒掉了。 憋(bik)	(慕瑾は笑って「映画を観るのにはまってしまうものなのだ。多く観れば観るほど観たくなるものだ。地方では、観るものがないので、2 年我慢するとやめることができた」と言った。) 憋: 我慢する。 憋 = 〈忍耐〉
8-121-24	她伏在桌上，把她母亲 <u>铺</u> 着 <u>拣</u> 米的报纸 <u>掀</u> 起一角来看，……。 铺(pù) 拣(gāe) 掀(xì)	(彼女は机に向かって母親がお米の稗と小石を抛り取るため広げた新聞紙の隅をめくって読みはじめ、…) 铺: 敷く。(《铺着 pùzhāk》は動態助詞「着」を附加した用法。前掲「3-43-21、22」に同じ。) 铺 = 〈垫〉 拣: 抛る。(前掲「8-120-21」に同じ。) 拣 = 〈挑〉 掀: めくる。(前掲「1-6-5」に同じ。) 掀 = 〈翻〉
8-121-26 ~ 8-122-1	顾太太笑道：“好好，我让你。我也是得去 <u>歇</u> 歇了，这次米不好，沙子特别多，把我 <u>揀</u> 得头昏眼花的。” 歇(xik) 揀(gāe)	(顧夫人は笑って「分かった、分かった。あなたの言う通りにするわ。確かに少し休憩したいと思っていた。今回のお米はよくないわ。小石がとても多い。頭がふらふらして目がかすんでしまうほど抛り取っていた」と言った。) 歇: 休む。(《歇歇 xikxik》は動詞の重ね型の用法。《歇手 xiksōe》《歇歇手 xikxiksōe》にも

		使われている。) 歇歇＝〈休息休息〉 拣：抛る。(前掲「8-120-21」に同じ。) 拣＝〈挑〉
8-124-16	曼楨也有些猜到两位老太太的心事，她也不说什么，自管自收拾，就到她弟弟学校里看戏去了。 管(gēu)	(曼楨は二人のお年寄りの気持ちが幾らか推測できたが、何も言わず、さっさと片付けて、弟の学校へ芝居を観に行った。) 管:構う。(《自管自 zīgēuzi》:自分のことだけ構うこと。) 自管自＝〈自顾自〉
8-127-12	走到楼上，看见顾太太一个人坐在灯下，面前摊着几张旧报纸，在那里拣米。 摊(tān) 拣(gān)	(2階に上がって、顧夫人が一人でランプの下に腰掛けて、前に何枚かの古新聞を広げ、そこでお米のイネビエを抛っていることを見かけた。) 摊:広げる。(前掲「8-120-21」に同じ。) 摊＝〈摆〉 拣:抛る。(前掲「8-120-21」に同じ。) 拣＝〈挑〉
8-127-16、17	她抬起头来笑笑，嘴里喻隆了一声作为招呼，依旧拣她的米。 拣(gān)	(彼女は頭を上げて少し笑って、一声挨拶をすると、そのままお米の稗を抛っていた。) 拣:抛る。(前掲「8-120-21」に同じ。) 拣＝〈挑〉
8-128-16	本来吗，慕瑾的事业可以说已经成功了，在社会上也有相当地位了，不像我是刚出来做事，将来是什么样，一点把握也没有。 做事(zūshì)	(元々慕瑾の事業がすでに成功を収め、社会的にもかなりの地位を得ていると言える。僕のように仕事が始まったばかりで、将来どうなるかは全然見通しが見つからないのは違うんだ。) 做事:仕事をする。(前掲「2-14-2」に同じ。) 做事＝〈工作〉
8-128-18、19	曼楨呢，她对他是非常佩服的，不过因为她跟我虽然没有正式订婚，已经有了一种默契，她又不愿意反悔。 反悔(fānhuì)	(曼楨は、彼のことを敬服しているが、僕とは正式に婚約をしたわけでもないが、暗黙の了解があった。それに彼女は決めたことを変えたくないようだ。) 反悔:気が変わる。 反悔＝〈翻悔〉
8-130-11	曼璐不耐烦地道：“你放心好了，反正不会带累你的！” 带累(dāilái)	(曼璐がうるさかって、「安心して下さい。とにかく迷惑をかけないから」と言った。) 带累:迷惑をかける。 带累＝〈拖累〉
8-130-16	顾太太这一天担足心事。 担(dān)	(顧夫人はその日、随分心配をしていた。) 担:～かける。(《担足(dàezok)》は結果補語を附加した用法。 担足＝〈担够〉)
8-131-14	慕瑾不敢接口，他怕曼璐再说下去，就要细诉哀情，成为更进一	(慕瑾は話を続けることを恐れていた。曼璐がこれ以上言うと、事細かく哀情を語ろうともなり、より深

	步的深谈了。 接口(jìkkōe)	い話し合いとなることを恐れていた。) 接口:話を継ぐ。 接口=〈接嘴〉
8-132-19、20	她母亲还不是也鼓励她，故意支使她送茶送水，一天到晚借故跑到他房间来，……。 支使(zìsī)	(彼女の母親も彼女を励ましたではないか。わざとお茶や水を届けさせたりして、一日中口実を設けて彼の部屋に入っていかせたのではなかろうか、…中略…) 支使:やらせる。 支使=〈差使〉
8-133-15、16、17	我真担心，我想你刚巧这一向心里不痛快，老是跟姑爷愠气，不要一看见慕瑾，心里就活动起来。 愠气(ōuqī) 活动(hhuăkdhón)	(この頃ちょうど気がふさいでいて、いつもご主人に腹をたてているので、慕瑾に会うと気持ちがそわそわしてしまうのではないかと本当に心配していた。) 愠气:腹をたてる。(前掲「3-35-10」に同じ。) 愠气=〈生气〉 活动:動く。「《活动起来 hhuăkdhónqīlāe》は方向補語を附加した用法。」 (心) 活动起来=〈动起心来〉
9章-134頁 4、5行	世钧想是想通了，不知道为什么，却又延挨了一天。其实多挨上一天，不过使他多失眠一天罢了。 延挨(yíāe)	(世鈞は納得した。しかしなぜかは分からないが、また一日遅らせた。実のところ一日遅れれば一日多く不眠にさせられてしまうだけである。) 延挨:遅らせる。「延挨」は《延晏 āe》にも使われている。 延挨=〈推晩〉
9-134-18、19	回来又碰见下大雨，几个人都着了凉，你过给我，我过给你，一家子都伤了风。 过(gū) 伤风(sànfòn)	(帰り大雨に出くわし、何人かが風邪を引いてしまい、お互いうつし合って、家族みんな風邪を引いてしまった。) 过:伝染する。「过给」は《过拨 gūbek》にも使われており、結果補語を附加した用法。) 过拨=〈传染给〉 伤风:風邪を引く。(前掲「1-7-24」に同じ。) 伤风=〈感冒〉
9-135-7	世钧走到房间里面，看见老太太坐在那里剥豆瓣。 剥(bok)	(世鈞は部屋に入ると、おばあさんがそこに腰を掛けて豆の皮を剥いているのを見た。) 剥:剥く。(《剥豆瓣 bokdóebàe》:乾燥させた空豆の皮を剥く。「豆瓣」とは乾燥させた空豆のことを言う。上海人は水で戻し、皮を剥いた「豆瓣」を高菜と炒めたり、榨菜スープを作ったりして、重宝される保存食材の一つにしている。)
9-135-12、13	他老捉着她的手不放，……。 捉(zok)	(彼はずっと彼女の手を握ったまま放さずにおいて、…中略…) 捉:握る;つかむ。(《捉着 zokzhăk》は動態助詞を附加した用法。)

		捉着＝〈抓着〉
9-135-13、14	曼桢道：“你干吗这些天不来？”世钧笑道：“我这一向忙。”曼桢向他撇了撇嘴。 撇(pīk)	曼桢は「ここ数日どうして来なかったの？」と言うと、世鈞は笑って、「この頃忙しかった」と言った。曼桢は彼にちょっと口を突き出した。(《一向 yīk xiān》は《一枪 yīqiān》にも使われており、〈一段时间〉という意味。) 撇:突き出す。(《撇了撇嘴 pīklèkpīkzī》:口を突き出す。「撇了撇」は動詞の重ね型で過去形の用法。 撇嘴＝〈努嘴〉
9-135-20	世钧道：“哦。”他在曼桢的床上一坐，只管把她床前那盏台灯一开一关。曼桢打了他的手一下，道：“别这么着，扳坏了！” 扳(bàn)	(世鈞は「はい」と言って、曼桢のベッドの上に座り込んで、ひたすら彼女のベッド前にある電気スタンドのスイッチを点けたり消したりした。曼桢はちょっと彼の手をたたいて、「やめてよ、壊れてしまう」と言った。) 扳:(スイッチなどを)切り換える。(《扳坏 bàehhá》は結果補語を附加した用法。) 扳坏＝〈按坏〉
9-136-21	除非你，我是不会瞎疑心的。 疑心(níxīn)	(あなたそうしないかぎり、私はとりとめもなく疑うはずがない。) 疑心:疑う。 疑心＝〈怀疑〉
9-137-2、3	世钧道：“其实结了婚也是一样的，你不是照样可以做事吗？”曼桢道：“那要是——要是有了小孩子呢？孩子一多，就不能出去做事了，……。” 做事(zhìshì)	(世鈞は「実のところ、結婚しても同じように、今まで通り仕事をしてもよいではないか」と言った。曼桢は「もしも——もし子どもができたらどうなるの？子どもが多くなれば、外で仕事をする事ができなくなる」と言った。…中略…) 做事:仕事をする。(前掲「8-128-16」に同じ。) 做事＝〈工作〉
9-137-7	曼桢啐道：这回真不理你了。 理(lǐ)	(曼桢は「今回は本当にもう相手にしないよ」とかなり怒って言った。) 理:取り合う。(「不理你了」は《勿睬依勒 wèkcāenólèk》にも使われている。) 理＝〈理睬〉
9-137-15、16	她且不答他这句话，只把他一推，避免让他吻她，道：我伤风，你别过上去了。”世钧笑道：我也有点伤风。” 伤风(shāngfēng) 过(guò)	(彼女はひとまず彼の質問に答えず、彼をちょっと押して、彼にキスをされないように、「風邪を引いたので、うつらないように」と言ったが、世鈞は笑って「僕もちょっと風邪を」と言った。) 过:うつす。(《过上 gūshàng》は結果補語を附加した用法。) 伤风:風邪を引く。(前掲「8-134-18、19」に同じ。) 过上＝〈传染上〉

9-138-26～ 9-139-1、2	她觉得他这种作派，好像有点说不过去，给她家里人看着，不是让她受窘吗？ 受(shóe)	(彼女は彼のこのようなやり方は言い訳ができず、家の人に見られたら、彼女を困らせるのではないかと思っていた。) 受:受ける。《《受窘 shóejǐōn》》:困らせる。) 受窘=〈为难〉
9-139-14	顾太太道：“那还早呢。坐一会，坐一会！”世钧方才坐了下来，慢慢地摘掉围巾，搁在桌上。 搁(gōk)	(顧夫人は「まだ早いよ。もう少しお掛けになって」と言っただので、世鈞はようやく腰をおろして、ゆっくりとマフラーをはずし、机に置いていた。) 搁:置く。《《搁在 gōkzháe》》は結果補語を附加した用法。) 搁在=〈放在〉
9-139-15	顾太太搭讪着说要泡茶去，就走开了，……。” 搭讪(daksàe)	(顧夫人はとりとめもない話をしながらお茶を入れてくると言って、すぐ出て行き、…。) 搭讪:とりとめもない話をする。《《搭讪头 daksàe dhóe》》にも使われている。前掲「1-10-3」に同じ。) 搭讪=〈拉話〉
9-140-3、4	世钧写完了，站起身来道：“我该走了。你别出来了，你 <u>伤风</u> 。” 伤风(sànfòn)	(世鈞は書き終わると、立ち上がって「もう帰らなくては。君は風邪を引くから、外に出ないで下さい」と言った。) 伤风:風邪を引く。(前掲「8-134-18、19」に同じ。) 伤风=〈感冒〉
9-140-5	弄堂里还没有 <u>上</u> 铁门，可是街上已经行人稀少，碰到两辆黄包车，都是载着客的。 上(sèu)	(横町では鉄の門には施錠はまだされていなかったが、街ではすでに人影もまばらで、二台の黄包车と擦れ違うと、どれも客を乗せていた。) 上:施錠する。《《上铁门 sèutikmén》》:鉄の門に施錠する。) 上門=〈拴門〉
9-141-20	世钧望着她笑道：“你瞧，这时候你就知道了，要是结了婚就好办了，那我们当然一块儿回去，也 <u>省</u> 得你一个人在这儿惦记着。” 省(sān)	(世鈞は彼女を見て「ほら、いまとなつては分かるだろう。もし結婚してうまくいけば、僕たちは当然一緒に帰れるし、君一人だけがここで心配なくてすむことだ。」と笑いながら言った。) 省:省く。《《省得 sāndek》》:～しないですむように。) 省得=〈以免〉
9-142-10	(姨太太的娘道)“别动，别动，爸爸生病呢，你还不乖一点！周妈你抱她去 <u>溜溜</u> ，可别给她瞎吃，啊？” 溜(liòe)	(〈第二夫人の母親が〉「触れないで、触れないで、お父さんは病気なの。お利己さんになってね。周さん、彼女を抱っこしてちょっとぶらついてらっしゃい。無暗にこの子に食べさせないでね。いい？」と言った。) 溜:ぶらつく;散歩する。《《溜溜 liòeliòe》》は動詞の重ね型の用法。)



		溜溜＝〈溜达溜达〉
9-143-20	她忙出忙进，不一会儿，就有一个老妈子送上一大盘炒面，两副筷子来，……。” 忙出忙进(máncakmánjīn)	(彼女は忙しく出たり入ったりしていて、暫くしたらある年配の女中が大きい皿に乗せた焼そばと箸 2 膳を持ってきて、…中略…) 忙出忙进:忙しく出たり入ったりする。 忙出忙进＝〈跑出跑进〉
9-144-12、13	(姨太太)说道：“二少爷只好在这张小床上委屈点吧，不过这被窝倒都是新钉的，还干净。” 钉(dīn)	(第二夫人は)「若旦那さん、どうかこの小さなベットで我慢してください。でもこの布団は新しく縫い付けたもので、きれいです」と言った。 钉:縫い付ける。《《钉被窝 dīnphíwū》は《钉被头 dīnphídhóe》にも使われている。 钉＝〈縫〉
9-145-14～16	嘯桐叹了口气说：“实在放不下手来，叫我有办法！我这一病下来，才知道什么都是假的，用的这些人，就没一个靠得住的。 病(bín)	(嘯桐は溜め息をついて、「どうしてもほっておけないから仕方のないことだ。今回病気になって、すべて偽りであることがようやく分かった。使用人は、一人も信用できるものはいない。」と言った。 病:病気になる。《《病下来 bínhhóláe》は方向補語を附加した用法。) 病＝〈生病〉
9-145-25、26	嘯桐微笑道：他到底是在外头混过的，连这点事都办不了，那还行？” 混(hhuén)	(嘯桐は微笑みながら「この子はいったい外で経験を積んだことがあるのかい、こんなことさえもできないなんて、駄目だね」と言った。) 混:経験を積む。《《混过 hhuéngū》は動態助詞を附加した用法。《混出来 hhuéncekláe》にも使われている。) 混过＝〈干过〉
9-145-26～146-1	世钧接连替他父亲跑过两次腿，……。 跑腿(pháotāe)	(世鈞は続けて父のために 2 回使い走りをし、…中略…) 跑腿:使い走りをする。《《跑过两次(liáncī)腿》は《跑过两趟(liántān)腿》にも使われている。 跑腿＝〈当差使〉
9-148-12	汽车仿佛来得特别慢，他把一张晚报颠来倒去看了两三遍，才听见汽车喇叭响。 颠来倒去(diláedāoqī)	(バスがまるでとてもゆっくりとしか来ないかのように思え、彼は一部の夕刊を 2、3 回も読み繰り返すと、やっとバスのクラクションが鳴るのが聞こえてきた。) 颠来倒去:同じことを何度も繰り返して行う。 颠来倒去＝〈反反复复〉
9-148-25	姨太太道：“便当——告诉你，没有这么便当！”紧接着就听见一阵就揪夺的声音，然后咕咚一声巨响，世钧着实吓了一跳。 揪夺(jiòedhōk)	(第二夫人は「都合の良いこと。——言うけど、こんな簡単なことじゃないわよ！」と言うと、続けて奪い合う音がしばらく聞こえてきて、そして、ドンというかなり大きな音をしたので、世鈞は本当にびっくりした。 揪夺:奪い取る。

		揪夺 = 〈抢夺〉
9-149-13 、 14	趁着房间里乱成一片，他就喊：“周妈！王妈！车来了没有？——混帐！快 <u>搀</u> 我下去。” 搀(càe)	部屋の中が混乱しているのに乗じて、彼は「周さん、王さん、車が来たのか？——ばかもの。早く手を貸して下へ行かんか」と大声で叫んだ。 搀：手を貸す。体を支えてやる。 搀 = 〈扶〉
9-149-14 、 15	世钧把他自己的东西 <u>拣</u> 要紧的拿了几样，也就跟在后面，走下楼来，一同上车。 拣(gāe)	世鈞は自分の大事なものを選びすぎて幾つか持つと、後ろに付いて階段を下りて一緒に車に乗りこんだ。 拣：選りすぐる。 拣 = 〈挑〉
9-150-17	还是沈太太再三劝他：“不要为这点点小事生气了。太 <u>犯不着</u> ！大夫不是叫你别 <u>发急</u> 吗？” 犯(váe) 发(fak)	(それでも沈夫人は「このような些細なことで立腹しないでください。そのようにするだけの価値がない。医者にはいらいらしないようにと言われたじゃないの?」と何回も彼を説得した。) 犯：犯す。(《犯不着 váevěkzhak》は《犯勿着 váevěkzhak》にも使われている。 犯勿着 = 〈不值得〉 发：起こす。(《发急 fakjik》:いらいらする。焦る。) 发急 = 〈焦急〉
10 章-152 頁 -2、3、4 行	这人也仿效着他们经理先生的美国式作风，把一只脚高高 <u>搁</u> 在写字台上，悠然地展览着她的花条纹袜子与皮鞋，鞋底绝对没有 <u>打过</u> 掌子。 搁(gok) 打(dān)	(この人も支配人という方のアメリカ式のスタイルを真似し、片足を高くしてオフィスデスクに置き、悠然と彼女のカラフルの縞模様のソックスと革靴を見せびらかした。鞋底はもちろん継ぎ当てをしていなかった。) 搁：置く。(前掲「9-139-14」に同じ。) 搁在 = 〈放在〉 打：打って造る。(《打掌子 dānzānzī》: 鞋底に継ぎ当てをする。)
10-152-26 ~ 10-153-1	当然这不过是一时权宜之计，将来还是要出去 <u>做事</u> 的。 做事(zūshí)	(もちろんこれは一時の便宜上の措置にすぎず、将来はやはり外で仕事をしたい。) 做事：仕事をする。(前掲「8-128-16」に同じ。) 做事 = 〈工作〉
10-153-8、9	事实是，只要他继承了父亲的家业，那就什么都好办，结婚之后， <u>接济</u> 接济丈人家，也算不了什么。 接济(jíkji)	(事実上、彼が父親の家業を受け継ぎさえすれば、あらゆる問題がスムーズに解決ができる。結婚後妻の実家に少し援助をしても大したことはない。) 接济：援助する。(《接济接济 jíkji jíkji》は動詞の重ね型の用法。前掲「3-35-15」に同じ。) 接济 = 〈援助〉
10-153-11 、 12、13	他和曼桢两个人，他有他的家庭负担，她有她的家庭负担，她又	(彼と曼桢二人は、それぞれの家庭からの負担があり、曼桢はこれ以上彼に迷惑を掛けたくないの

	不肯 <u>带累</u> 了他，结婚的事更不必谈了，简直遥遥无期。 带累(dāilái)	で、結婚ということは、いつになるかまったく見通しがつかないことなど言うまでないことであった。) 带累: 迷惑をかける。(前掲「8-130-11」に同じ。) 带累 = 〈连累〉
10-154-5、6、7	他在上海 <u>耽搁</u> 了两三天，这几天他们天天见面，表面上一切和从前一样，但是他一离开她，就回过味来了，觉得有点不对。 耽搁(dāgegòk)	(彼は上海での滞在を数日手間取った。この頃彼らは毎日会っており、表面的にはすべて今まで通りではあった、しかし彼女から離れると、後味が悪いように、何か違うと思っていた。) 耽搁: 手間取る。 耽搁 = 〈耽误〉
10-155-7、8	“……就像是怕你上他们家去随地吐痰或是吃饭 <u>抢菜</u> ，丢他的人。” 抢(qiān)	(「…中略…まるで彼らの家に行って、ところ構わず痰を吐いたり、或いはご飯の時に料理を奪い取ったりして、彼の面子をつぶしたようであった。」「丢他的人」は「丢他的脸」という意味で使われている。丢人 = 〈丢脸〉 抢: 奪い取る。(《吃饭抢菜 qǐkǎnqiāncāi》: 食事中、我勝に料理を沢山取ってしまうという表現。) 抢 = 〈争抢〉
10-155-9、10	曼桢也笑了笑， <u>搭讪</u> 着她的包头紧了一紧，道：……。 搭讪(dāksà)	(曼桢もちよつと笑って、取りとめもない話をしながらバッグの口を少しぎゅつとして、「…中略…」と言った。) 搭讪: 取りとめもない話をする。「1-10-3」に同じ。) 搭讪 = 〈拉話〉
10-156-23	世钧无论怎样 <u>撇清</u> ，说是叔惠的女朋友，反正是他专诚由上海请来的一个女客，家里的人岂有不注意的。 撇清(piěqīng)	(世鈞が、叔惠の女友達だとか、わざわざ上海から招待した女性客だとかを言って、いくら弁解しようとも、家の人に注目されないはずもない。) 撇清: 身の潔白をひけらかす。 撇清 = 〈辨清〉
10-157-5、6	沈太太这一向为了一个 <u>嘯桐</u> ，一个世钧，天天 <u>挖空心思</u> ，弄上些好吃的，孩子看着怎么不眼馋呢？ 挖空心思(wākōngxīnsi)	(沈夫人はここ最近ずっと嘯桐と世鈞のことで毎日知恵を絞って、何かの美味しいものを作ったりしていたので、子どもがそれらを見ていたら食いしん坊にならないはずがない。) 挖空心思: ない知恵を搾り出す。 挖空心思 = 〈绞尽脑汁〉
10-157-9、10	世钧不懂事罢了，连他母亲也跟着 <u>起哄</u> ！ 起哄(qǐhōng)	(世鈞は分らず屋であることはよしとしても、世鈞の母親でさえも彼女を冷かしていた。) 起哄: 冷かす; 野次を飛ばす。 起哄 = 〈喧嚷〉
10-158-21、22	沈太太笑道：“ <u>暖哟</u> ，老太爷，你就歇歇吧，别揽这桩事	(沈夫人は笑って「まあまあ、旦那様、止めましょうね。このことには関わらないで下さい。…中略

	了! ……。 ” 歇(xīk)	…)」と言った。 歇: 休む。((歇歇 xīkxīk)は動詞の重ね型の用法。前掲「8-122-26」に同じ。) 歇歇 = 〈休息休息〉
10-159 -10、11	当时他太太为这件事也很受委屈, 还跟她弟弟 <u>怄</u> 了一场气。 怄气(ōuqì)	(その時このことで彼の奥さんがやり切れない気持ちをもって、自分の弟にも腹を立てていた。) 怄气: 腹を立てる。(前掲「3-35-10」に同じ) 怄气 = 〈生气〉
10-161 -4、5	叔惠走过来说道: “恭喜, 恭喜, 几时请我们吃喜酒?” 吃(qīk)	(叔惠はやって来て、「おめでとう、おめでとう。いつ結婚披露宴に招待してくれるの?」と言った。) 吃: 食べる。(上海語は《吃喜酒 qīkxījiō》、《吃茶 qīkzhó》のように、「喝」の代わりに「吃」が使われている。) 吃喜酒 = 〈喝喜酒〉
10-161-18、 19	翠芝脸红红的, 把脸一沉, 道: 你不要拿我开心。 开心(kàixìn)	(翠芝の顔が赤くなり、そして開き直って、「私をからかわないで下さい」と言った。) 开心: からかう。楽しい。(「拿开心»: ~をからかう。「开心」は、《寻开心 xhínkàixìn》という動詞「寻」を省略した用法。) 开心 = 〈开玩笑〉
10-161-22、 23	大少奶奶便问世钧: “你们 <u>预备</u> 上哪儿去玩?” 预备(yhúbháe)	(世鈞の兄嫁は世鈞に「どちらへ遊びに行きたいのですか?」と聞いた。) 预备: ~するつもり。(助動詞の用法) 预备 = 〈打算〉
10-161-26、 10-162-1	“……等一会一块回到这儿来吃饭, 妈特为 <u>预备</u> 了几样菜给他们两位接风。” 预备(yhúbháe)	(「…中略…後で一緒にここへ戻って来てご飯を食べましょう。母さんはお二人を歓迎するため、わざわざ何種類かの料理を準備した」と。) 预备: 準備する。(動詞の用法) 预备 = 〈准备〉
10-163-17、 18	父亲房里装了个火炉, 此外只有起坐间里有一只火盆, 上面 <u>搁</u> 着个铁架子, <u>煨</u> 着一瓦钵子荸荠。 搁(gōk) 煨(wāe)	(父親は部屋の中でこん炉を取り付けていた。その他、居間にだけ小さな火鉢があり、その上に鉄の台が置かれており、素焼きの鉢でクログワイをとろ火で煮ていた。) 搁: 置く。(前掲「10-152-2、3、4」に同じ。) 搁 = 〈放〉 煨: とろ火で煮込む。(前掲「4-53-3」に同じ。) 煨 = 〈煮〉
10-165-9、10	世钧突然微笑道: “你小时候有没有把雪茄烟上 <u>匝</u> 着的那个纸圈圈当戒指戴过?” 匝(zāk)	(世鈞は突然「君は小さい頃葉巻に付いているリング状の紙を指輪としてはめたことはありますか?」と微笑んで言った。) 匝: 結ぶ。((匝着 zākzhāk)は動態助詞を附加した用法。) 匝 = 〈扎〉

10-165-10、 11、12	世钧笑道：“就把这绒线揪一点下来，裹在戒指上吧？”他把那绒线一抽，抽出一截子来揪断了，绕在戒指上，绕几绕，又给她戴上试试。 揪(jiōe) 绕(niáo)	(世钧は笑って「この毛糸を少し切っておいて指輪に巻きましょうか」と言うと、毛糸をちょっとひっぱり、抜きてたところを切ると、指輪に何回かぐるぐる巻きにして、彼女の指に嵌めてみた。) 揪：ちぎる。(《揪断 jiōedhéu》は結果補語を附加した用法。) 揪断＝〈拉断〉 绕：巻く。(《绕在 niáozhái》は結果補語を附加した用法。) 绕在＝〈巻在〉
10-165-17、 18	大概本来是给他们预备的，被他母亲拦住了，没叫她进来。 预备(yhúbhāe)	(多分元々彼らのために準備していたが、彼の母親に止められて、彼女を呼ばなかった。) 预备：準備する。(前掲「10-161-26」に同じ。) 预备＝〈准备〉
10-166-2、3	“……哪晓得左等也不来，右等也不来。” 晓得(xiāodek)	(「…中略…どうして来ても来なくてもいいなどとは知りましょうか」と。) 晓得：知る。(前掲「7-104-25」に同じ。) 晓得＝〈知道〉
10-166-4、5	——本来没打算再来了，我预备直接回去的。 预备(yhúbhāe)	(——元々もう一度来る予定がなくて、直接戻りつもりだった。) 预备：～するつもり。(前掲「10-161-22、23」に同じ。) 预备＝〈打算〉
10-166-22、 23	“……不是说那儿的和尚有家眷吗，也许把石小姐也留下了，组织小家庭了。” 组织(zūzak)	(「あそこの坊さんには家族があると聞いていたでしょう。石のお嬢さんも家庭を築くために居残させられたかもしれない」と。) (《组织小家庭 zūzakxiāojiàdhín》は、若い夫婦が家庭をもつ時に使う言葉。) 组织：築く。 组织＝〈建立〉
10-167-1、2、 3	……(叔惠)就向她嚷道：“喂，你怎么这样没出息，简直丢我们上海人的脸嚟，走那么点路就不行了，老早溜回来了！” 溜(liòe)	(…中略…叔惠は)彼女に「おい、情けないぞ。我々上海人の面子が丸つぶれだよ。これ位しか歩いていなかったのに、早々と逃げ帰ってきたなんて」と怒鳴って言った。) 溜：こっそり逃げる。(《溜回来 liòehháeláe》は方向補語を附加した用法。) 溜回来＝〈逃回来〉
10-167-25	曼桢这一天早上洗过脸，也就多扑了些粉。 扑(pok)	曼桢はこの日朝顔を洗って、化粧用のパウダーを多めにつけていた。 扑粉＝〈擦粉〉

10-168-11、12	沈太太笑道：“许家少爷说话真有意思。”随即 <u>别过脸</u> 去向世钧笑道：“……”。 别(bhīk)	(沈夫人は「許の若旦那はお話がユーモラスたっぷりだわ」と笑って言って、すぐに世鈞に顔を振り返して、…中略…) 别:変える。(《别过脸去》は《别过面孔去 bhīkgū mīkōnqū》にも使われており、方向補語を附加した用法) 别过脸去 = 〈转过脸去〉
10-169-21、22	沉默了一会，一鹏又道：“她要稍微给我一点影子，给我 <u>打</u> 一点底子，又还好些——抽冷子给人家这么一下！” 打(dān)	(暫く黙り込んで一鵬は「彼女は少しでも暗示を与えたり、それらしいことを言ったりするならまだしも、不意打ちをするなんて」とまた口を開いた。 打:打つ。(《打底子 dāndīzī》:基礎を打つ。(ここでは基本的なことを指す。)) 打底 = 〈垫底〉
10-170-25	和姊姊姊夫多年不见了，正好大家聚聚。 聚(jú)	(姉や義兄とは何年も会っていないので、ちょうど皆で集まれる。) 聚:集まる。(《聚聚 jhújhú》は動詞の重ね型の用法。前掲「8-120-26」に同じ。) 聚 = 〈汇聚〉

#### 【参考資料】

- 榎本英雄／范晓 著、1996年4月5日第6刷『エクスプレス上海語』(白水社)  
 阮恒輝 著、2014年8月『上海話教程』(上海辞書出版社)  
 錢乃榮 編著、2008年4月第5版『上海話大詞典』(上海辞書出版社)  
 丁迪蒙 著、2015年1月第2版『学説上海話』(上海科技文献出版社)  
 宮田一郎 編著、昭和63年9月10日『上海語常用同音字典』(光生館)

#### 【参考文献】

- 張惠苑 編集、2014年1月『張愛玲年譜』(天津人民出版社)  
 余斌 著、2001年12月第2版『張愛玲伝』(広西師範大学出版社)  
 「張愛玲作品」  
 『十八春』1986年1月第1版(江蘇文藝出版社出版)  
 [長篇小説]『半生縁』2001年4月1日(皇冠文化出版有限公司・典藏初版一刷)